

『社会学研究』第33号(1972年8月25日刊)

論説

- ・「唯物論的社会理論の原点 「独仏年誌」前後」(細谷昂)
- ・「疎外された労働」の論理構造 『経済学・哲学草稿』における方法的視点」(湯田勝)
- ・「社会的相互行為系のモデル構成の試み パーソنزの基本範疇による予備考察」(原山保)
- ・「シンボル相互行為論の基本構造 特に H.D. ダンカンを中心に」(前田征三)
- ・「社会学における心理学的説明の提唱とその意義 ホマンズ心理学還元主義の理解」(久慈利武)

書評

- ・鈴木幸寿著『現代社会と政治』(評者 小林淳一)
- ・森博著『現代社会論の系譜』(評者 前田征三)
- ・高橋勇悦著『現代都市の社会学』(評者 横井修一)